

2010年度

科目名	日本文学講読IV		
担当教員	高橋 圭一		
配当	日文1(2112)	コード	11080
開期	後期	講時	月曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	元禄の流行作家井原西鶴を読む。		
目的と概要	近世文学きってのストーリー・テラー井原西鶴の作品を読む。西鶴の生涯と彼が生きた時代をざっと観たのち、四～五編を細かな語釈・解説を加えつつ熟読する。		
成績評価法	学期末の試験(論述式)80%、平常点20%。		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	講義中に随時紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	西鶴の文章は決してやさしくはない。現代語訳はあてにならない。講義中、よく聞いておくこと。前期と後期とでは読む作品を一部入れ替える。		
講義計画			
<p>第1回 西鶴の生涯、西鶴と大坂。 第2回 続き。西鶴と俳諧。 第3回 続き。代表作品の解題。 第4回 『好色一代男』巻一の一「けした所が恋はじめ」。光源氏は文始め、稀代の色事師世之介は恋始め。 第5回 続き。 第6回 『万の文反故』巻二の三「京にも思ふやう成事なし」。結婚狂想曲。結婚を繰り返したその果ては？ 第7回 続き。 第8回 『武道伝来記』巻三の三「大蛇も世に有人が見た様」。臆病な侍の息子が父の恥を晴らそうとするが。 第9回 続き。 第10回 続き。 第11回 『西鶴諸国ばなし』巻二の一「大晦日はあはぬ算用」。貧しい武士たちのちょっといい話。 第12回 続き。 第13回 『本朝二十不孝』巻二の一「旅行の暮の僧にて候」。わずか九才の娘が父親に人殺しをそそのかす。 第14回 続き。 第15回 今回の講義のまとめ。</p>			